

平成27年12月

会員 各位

一般社団法人日本筋ジストロフィー協会  
代表理事 貝谷 久宣

署名に協力をお願い  
(八雲病院の医療機能の継続について)

いつも協会活動に協力いただき、ありがとうございます。

さて、北海道八雲町にある国立病院機構八雲病院が、札幌市にある北海道医療センターへ医療機能の移転をすることは、会報「一日も早く」第289号などすでにご存知と思います。八雲病院は筋ジストロフィー患者にとって、気管切開をしない鼻マスク人工呼吸器による診療に関する我が国の拠点で、さらに医師、看護師、理学療法士、作業療法士、臨床工学士をはじめとする多職種の医療チームが一体になった専門医療を実践しています。このため、長期の入院患者はもちろん、短期入院、定期検査などで全国の筋ジストロフィー患者が利用しています。

八雲病院の医療機能については、別紙の「国立病院機構八雲病院の筋ジストロフィー専門診療機能の札幌移転（国立病院機構北海道医療センター敷地内）に関する要望書」をご覧ください。詳細にご理解いただけます。

こうした素晴らしい医療機能を移転後も継続していただくように、協会として所管をする厚生労働省と国立病院機構本部へ要望書を提出するとともに、会員の皆様による署名を添付することを昨年末の理事会で決議いたしました。

つきましては、要望書をお読みいただき、厚生労働大臣、国立病院機構理事長あての署名用紙に署名、捺印いただき、同封の返信封筒にてご返送ください。取りまとめをして、協会役員、患者代表とともに、来年3月中に、要望書と署名をお届けして、八雲病院の医療機能の継続を強く要望いたします。

署名用紙には、厚生労働大臣あてと、国立病院機構理事長あての2か所それぞれに署名、捺印をお願いします。点線で切り離さずにそのまま返信願います。

なお、署名の締切は2月末とさせていただきます。

最後になりますが、会員の皆様にとりまして、来年もよい年となるよう、お祈りいたします。